

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

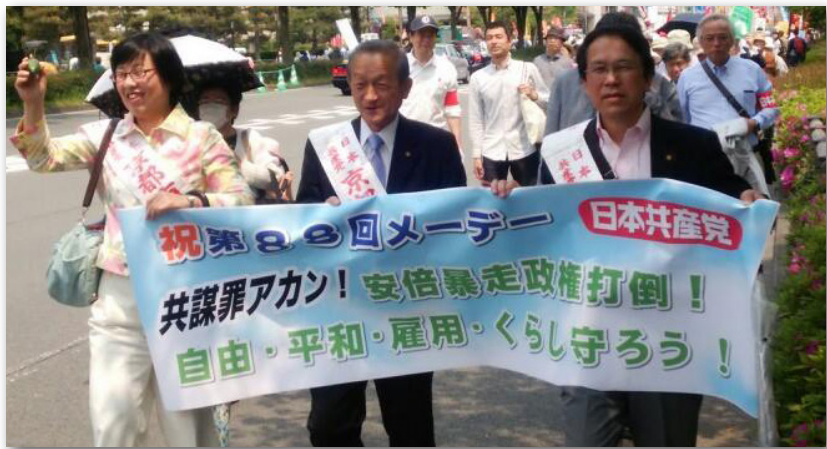
# 山本 陽子 活動ニュース

VOL.23 2017年5月21日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342

憲法制定70年  
9条守ろう！

山科区生活相談所  
山科区西野大手先町8-8  
☎595-8342



## 第88回全京都統一メーデー

国会でも、「長時間労働による過労自殺」問題が取り上げられ、働き方改革と議論されましたが、結局、過労死ラインと言われる月80時間以上の残業にお墨付きを与えるような案が示されました。そんななかおこなわれた今年のメーデー。長時間労働で精も魂も尽き果てた若者たちのコールが心に残りました。「あーそーばせーろ!」「リゲインじゃなくてビールが飲みたい!」「残業じゃなくてあの子に会いたい」。何のために働いてる? 何のために生きている? ……おどけたリズムが逆に一層切実さを増して聞こえました。一緒に働き方、変えていこう!

## 各学区自治連合会懇親会

4月の末から6月の初め頃まで、各学区自治連合会の懇親会が続きます。日頃、町内会や各種団体、施設等でご尽力頂いている多くの区民の方にお話しできる貴重な機会です。

PTAの役員のみなさんからは、「教育費の負担が半端でない。どうかしてください!」と声がかかり、また介護施設の役員さんからは、「人材がなかなか集まらず、利用者さんを定員まで受け入れることができない」との訴えも。

3年目の懇親会となり、顔なじみの方からは気軽に声をかけていただくようになりました。「共産党」を身近に感じてほしい

と思います。また、お困りごとに真摯に耳を傾けて、制度や政治を前進させるため力を合わせましようとお話しました。



## 山科消防査閲

夜となく昼となく、たとえ仕事中でもあっても火事となれば出動して、対応にあたっていて、消防団の皆様の日頃の活動に、あらためて敬意と感謝を感じつつ、今年も山科消防団の査閲に参加をさせていただきました。どの団も日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮されていました。

## 区役所の組織再編

京都市は今年度から、子育てに関する相談窓口をワンストップ化するべく、「子ども若者はぐくみ局」を創設し、区役所には「子どもはぐくみ室」をおいて部署を再編しました。また、保健センターについては、一部業務を残して医療衛生部門を京都市一か所のセンターに集約化がおこなわれました。さらに、残った業務は保健センターと福祉事務所を再編して「保健福祉センター」となります。

区役所でのレイアウト変更の工事が終わり、5月8日から新たな窓口での業務開始となったので、北山ただお市会議員と視察に行きました。

元保健センターの場所に、保育所入所の窓口や子ども医療の窓口が移動してきており、保育所入所申請の時期に、乳幼児健診が重なるとかなりの混雑が予想される印象です。



区民にとって使いやすい再編になったのか、みなさんのご意見をお待ちしています。

## ママチャリ 子育て日記

とんと、越えた五月...



新学年が始まって一か月が過ぎました。新一年生の岳史くんにとっては、わからないことがたくさん! 「時間割、どういうことか、意味わからん」「(ずこう)ってあるけど、教科書には(ずがこう)って書いてある。同じかわからん」……。わからんことだらけで、授業中に何回も「おしっこ」と言ってトイレに行っていたそうです。

入学式の三日後には給食が始まり、五時間授業。もうへとへとです。毎日、朝は「学校休む。行きたくない」と言うようになりました。ゴールデンウィークに入る前日にそれがピークとなり、布団に入って「行きたくない」と言います。勉強したり、先生のお話を聞いて、みんなと同じことをする時間が長すぎて、岳史にとっては全然楽しくない学校になっていったようです。

久しぶりに会った保育園友達のいさきちゃん。「学校楽しい?」って聞いたたら、「うん!」って言ってたけど、たけは楽しくない……。」と、自分だけが学校についていけない、という思いにも打ちひしがれていたようです。

でも、「岳史は岳史なりに、精一杯がんばってるよ!」「クラスの中でもがんばってるよ!」。担任の先生や、学童保育の先生、そして私(かか)も具体的に声をかけていくなかで、少し自分を認められるようになってきました。

ちょうどゴールデンウィークのお休みは仕切り直しのチャンス。私の実家の丹波の里山の自然のなかで山に登ったり、恐竜資料館に行つて発掘体験をしたり、家で好きなだけ遊ぶことができたので、連休明けには、そこそこ自分でも受け入れて、学校に通っています。

大人の尺度で画一的なカリキュラムに合わせられるようになって、一方では子どもの可能性を広げる『子ども時間』を奪っていくことになる。子どもが真ん中で、育つ環境が必要!